

# 巻頭のこ と ば

平成21年度に執行いたしました本市行政事務について、その概要を報告いたします。

我が国の経済は多少の回復傾向にあるとはいえ、依然として厳しい雇用状況であり就職氷河期の再来であると言われております。

国政におきましては、選挙の結果政権交代が行われ、私たちの地方を取り巻く環境も大きく変わろうとしておりますが、国と地方の適切な関係を保つため今後も国の動向を注視しながら的確に対処してまいりたいと考えております。

このような中、中海圏域では、米子空港滑走路の2,500メートル化が完成し、飛行機の安定就航や更なる国際化に向けて大きな一歩を踏み出しました。

また、ロシアのウラジオストック、韓国の東海と境港を結ぶDBSクルーズフェリーが就航したことにより韓国からのツアー客が増えたことから、中海市長会で連帯してその対応を協議、さらに中海を囲む四市1町で「中海圏域における定住自立圏の形成に関する協定」を締結し医療や福祉、教育などの22項目の連携事業を進めて行くことが決まるなど圏域の連携により環日本海時代の中核圏域づくりに大きく踏み出しました。

さらに、米子駅のバリアフリー化事業が平成22年度末の完成を目指して着手され、米子市におきましては、「中心市街地活性化基本計画」に基づく「法勝寺町商業環境整備事業」や「四日市町大型店舗再活用事業」等の取り組みや協働のまちづくりの基本となる「自治基本条例」の策定に向けての取り組みが始まるなど、様々なプロジェクトが動き出しました。

今後も、今まで推し進めてまいりました行財政改革路線をさらに推し進め、持続可能な財政基盤の上に立つ計画的な行財政運営に向けて、全精力を傾けて取り組んでまいります。

そして、市議会議員各位のご指導をはじめ、市民の皆様のご意見とご協力をいただきながら「生活充実都市・米子」を目指し、引き続き市政運営にまい進する所存です。

どうか、一層のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年8月

米子市長 野 坂 康 夫

# ■ 重 要 記 録 ■

## 1 野坂市政の2期目がスタート

新米子市発足後、2度目の米子市長選挙が4月19日に行われ、米子市長に野坂康夫氏が再選され、「生活充実都市・米子」の実現を目指して、決意も新たに野坂市政の2期目がスタートした。

また、同時に米子市議会議員補欠選挙が行われ、2名の新議員が誕生した。

## 2 中海市長会が「中海圏域振興ビジョン」を策定

中海市長会では、圏域が総合的・一体的に発展していくための将来像として「中海圏域振興ビジョン」をまとめ、北東アジアへ向けた西日本のゲートウェイの構築、自然と人との調和、豊富な地域資源と技術を活かした産業振興をめざし、実現に向けて必要となる社会基盤の整備や一体感の醸成に向け活動を進めることとした。

## 3 「中海圏域定住自立圏」を形成し連携事業を開始

圏域の生活機能やネットワークの強化を図り人口定住を進めるため、米子市・松江市・安来市・境港市・東出雲町は中海圏域定住自立圏を形成し連携して取り組むこととした。4月30日に松江市・米子市共同中心市宣言、10月7日に22項目の定住自立圏形成協定の締結、3月30日に定住自立圏共生ビジョンを策定した。

## 4 「ふるさと納税」記念品贈呈始まる

平成21年度から、「ふるさと納税促進」と「地元特産品広告宣伝」とのタイアップ事業を開始。地元企業から特産品などを無償もしくは安価で提供してもらい、「ふるさと納税」の記念品として贈呈することとした。

## 5 猛威 新型インフルエンザ 市内でもまん延

全国各地で猛威をふるった新型インフルエンザは本市内でもまん延し、小中学校等の教育機関で学校・学級閉鎖が相次いだ。本市では、「米子市新型インフルエンザ対策本部」を設置し、ワクチン接種費用の助成、相談窓口の設置、所管教育機関へのマスク配布、ホームページ等による市民への情報提供、注意喚起を行い、感染の拡大防止に努めた。

## 6 「米子市民自治基本条例」制定へ向けて よなご市民自治まつりを開催

9月6日、条例の素案づくりのために集まった市民組織である米子市民自治基本条例検討委員会が企画・立案したイベント「よなご市民自治まつり」が開催された。当日は、専門家や委員から、市民自らが市民の意見を聴きながら進める「米子方式の素案づくり」についての解説、ワークショップで得た市民意見の傾向分析などのほか、淀江さんこ節保存会の子どもたちの演技も披露され、参加者約200名が条例に対する理解を深めた。

## 7 子育て支援24時間電話・インターネット情報サービスの開始

妊産婦や乳幼児の健康に関することや乳幼児の事故防止・応急手当の方法などについての情報について、10月から自動音声及びインターネットにより24時間サービスを開始した。

## 8 美保飛行場（米子空港）滑走路2,500m供用開始

平成13年度から事業着手した米子空港滑走路2,500m化事業が完了し、平成21年12月17日より供用開始となった。

#### 9 伯耆、大山両町の一部地域の可燃ごみの暫定搬入に伴う覚書調印式が行なわれる

施設の老朽化により可燃ごみの処理が出来なくなる伯耆、大山両町の一部地域の可燃ごみを、平成23年4月から5年間、暫定的に「米子市クリーンセンター」で受け入れることについて、米子市と米子市クリーンセンター対策委員会は平成21年10月27日に覚書の調印式を行ないました。

#### 10 景観計画策定

景観法に基づき平成19年3月1日付けで景観行政団体となり、景観行政を推進する基本的な計画を策定することで、法に基づく規制・誘導を行うことが可能となったため、平成21年11月20日に景観計画を策定した。

#### 11 緊急経済対策を実施

国の経済危機対策により配分された、「地域活性化・経済危機対策臨時交付金」（交付決定額 約6億5千万円）、「地域活性化・公共投資臨時交付金」（交付決定額 約8億6千万円）、「地域活性化・きめ細かな臨時交付金」（交付決定額 約3億3千万円）を活用し、地域の緊急経済対策、公共投資の円滑な実施などの観点から、普通建設事業等総額約45億9千万円の事業を予算化した。